

議員提出議案第3号

令和6年度北九州市一般会計予算のうち子どもに係る予算に対する付帯決議について

令和6年度北九州市一般会計予算のうち子どもに係る予算に対する付帯決議をするため、議会の議決を求める。

令和6年3月25日

提出者 北九州市議会議員

吉村 太志	香月 耕治
佐藤 栄作	中島 慎一
宮崎 吉輝	渡辺 均
田中 元	日野 雄二
中村 義雄	鷹木研一郎
村上 幸一	西田 一
井上 秀作	吉田 幸正
戸町 武弘	

提案理由 令和6年度一般会計予算案においては、子どもに係る予算が、棚卸しにより廃止あるいは令和5年度から大幅に削減された。

しかし、廃止や削減に当たって、事務事業の価値づけや事業の対象となっている市民への影響についての評価が十分にはなされていないため、子どもに係る予算の意義と必要性について、慎重に検討することを求めるため。

令和6年度北九州市一般会計予算のうち子どもに係る予算に対する付帯決議

令和6年度一般会計予算案においては、棚卸しにより、ICT活用支援事業、部活動振興事業、いじめ・不登校対策事業、美術鑑賞事業「ミュージアム・ツアー」、平和のまちミュージアム管理・運営事業等（スタディツアー等の見直し）、私学助成などの子どもに係る予算が、令和5年度から廃止あるいは大幅に削減された。

しかし、廃止や削減に当たって、私学関係者、保護者、そして、子どもたちから、事業を継続するよう多くの声上がり、それを受けて、議員からも本会議や委員会において、予算削減を危惧する質疑や質問が出されている。

廃止や削減に当たって、子どもや保護者の意見は十分には反映されておらず、事務事業の価値づけや事業の対象となっている市民への影響についての評価や市民への説明が十分にはなされていない。

このままでは、子どもたちがさまざまな体験をする機会が失われることが危惧され、「こどもまんなか社会」や「次世代への投資」を掲げる市長の政策にも反する。

今後、子どもに係る予算の意義と必要性について、慎重に検討されたい。  
以上、可決に当たっての付帯決議とする。

令和 年 月 日

北九州市議会